

多摩区



まち全体が博物館！多摩川エコミュージアム！

7ページを
見てみよう

川崎市を流れる多摩川。この多摩川水系を大きな自然のミュージアムとして位置づけ、市民が川に親しめる空間をつくる「多摩川エコミュージアム構想」が進められています。

みんなの近くにある多摩川水系をさがしだして、博物館みたいにしてみたいね。

まちづくり事例だよ！



平成11年4月「二ヶ領せせらぎ館」オープン！



多摩川は地域の大切な財産だね

二ヶ領せせらぎ館は「多摩川エコミュージアム構想」について学習できるところです。

館内には多摩川や二ヶ領用水の自然と歴史に関する資料や、宿河原堰の模型などを展示しています。床には多摩川の源流から河口までの航空写真のパネルが敷かれているよ。

こんな場合どうする？狭いからみんなで協力、身近な道づくり

27ページを
見てみよう

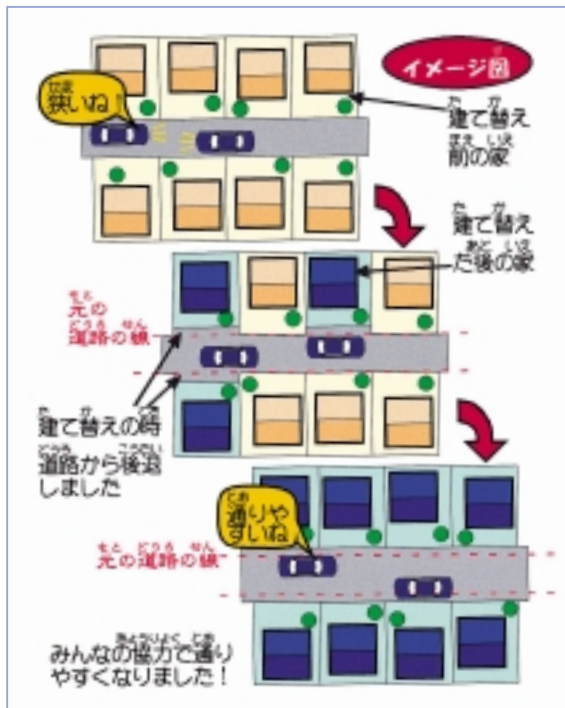
みなさんの家のまわりに狭い道はありませんか。
狭い道には自動車が入ってこられないから、
安心ですね。
でも、道が狭いと次のような問題があります。

- ・ゴミの収集車が奥まで入ることができない、
- ・火事の時、消防車が入ってくるできない、
- ・大地震の時、倒れてきた建物が道をふさいで、避難できない、

このほかにも風通しや日当たりなども心配ですね。

そこで、建物を建てる時、その敷地が接する道の幅は、
4メートル以上にしようというルールが決まっています。
4メートル未満の道にしか接していない家を建て替えるときは、
自分の敷地の一部を、少しずつ出し合って道を広げていくことにしています。

みなさんの家のまわりには、道幅がとこどこ狭くなったり、
広くなったりした道はありませんか。



まち全体を考えながら、住み良いまちづくり、登戸土地区画整理事業

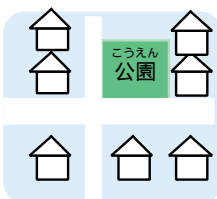
24ページを
見てみよう

登戸土地区画整理事業
<土地区画整理のしくみ>
密集している



みんなで土地を出し合って

道も広くなって、
公園もできたり、
下水道もつながった。



空から見た写真（黄色は将来の姿）

市役所の人の話

多摩区の登戸駅と向ヶ丘遊園駅の周辺の地域は、昔の津久井街道沿いにできたまちで、区役所や図書館などもあり、多摩区の中心地区です。しかし古くからのまちなので、道は細く下水道なども整備されていませんでした。

そこで、1988年に川崎市は、土地区画整理事業でまちづくりをすることに決定しました。

昔から住んでいる家を引っ越したりするのは大変だけど、みんなが一緒にやらないとまちは良くなりません。

現在は工事中でも、将来はきっとすばらしいまちに生まれ変わるでしょう。

まちづくり事例だよ!